

to do is ..., What we found out is ...), pronouns (we, I, you) and passive forms. Analyses of the location and distribution of these rhetorical patterns throughout the presentations reveal that these strategies function to mark transitions to new moves, to clarify and reinforce move objectives and/or to orient the audience to the presenter's intentions. Issues related to teaching Japanese novice researchers to make effective English presentations will be discussed based on contrastive analysis with the corresponding Japanese corpus.

M054

Sept. 2/10:30-10:55/Bld1 R307

Readers Theatre as a Way of Re-learning English
大学の「英語学び直し」授業とリーダーズ・シアター

K. Asano (Nanzan Junior College, Nanzan U.)

不十分な英語能力かつ不本意な英語学習経験のままに入学してくる学生のための授業実践の例を報告する。そこには入試結果が必ずしも英語能力の担保と言えなくなった現状で授業を進行させていることと、学生は話せるようになる英語教育を切望しながらも、自分が思うように話すこともできずに履修期間を終えてしまう実態がある。そこで、高等教育の新たな取組み分野である「英語学び直し」対策として、Readers Theatre (RT) (音読劇・音読パフォーマンス)を導入したところ、読解力、音読、協同的な作業に改善が見られた。

学生の特徴と授業クラス概要

- ・英語で何を話せるようになりたいのか学生自身が不確かである。また、社会経験は限定的で、国内
- ・世界情勢に極めて疎いという実態がある。
- ・文構造を理解する文法知識が欠落し、まとまりのある文章の読解が困難である。
- ・自分に合った英語学習方法が未習得であり、予習や復習が十分に行えない。
- ・授業は、週1回90分の必修で、1年女子24名が対象だった。教材は、担当者が適宜プリントを配布した。評価は、筆記試験と実演の両方で実施した。

RT 授業の目標と特色

- ・英語のジャンル・長短・難易度にかかわらず、表層的な意味を和訳する作業から、筆者の執筆意図や言外の意味、登場人物像など、より内面的な解釈を求める読解姿勢を養う。
- ・反復繰り返しの音読により、単語の発音・語強勢・抑揚・文強勢など (prosody) が習得できる。同時に prosody と語彙の両方が長期記憶に入りやすい。
- ・実演時に用いる非言語コミュニケーションを英語の意味・解釈に応じて学ぶことで、表現力を高めやすい。非言語や擬声語・擬態語の文化的差異が学べる。
- ・クラスの人数や学習実態を考慮して、2～10人程度までのグループ発表が可能である。その過程で個人学習とグループ学習の両方の学習習慣が身につく。